

中国帰国者支援に求められるスキルと役割

—多文化ソーシャルワークからのアプローチ—

2014年10月16日

日本福祉大学 石河久美子

1. 多文化ソーシャルワークが必要とされる背景

1) 日本に在住する多様な文化的背景の人々

- 多様化と増加
- 短期滞在から長期滞在、定住化へー地域の生活者
- 国際結婚家族
- 外国人移住労働者家族
- 中国帰国者
- 難民

2) 異なる文化の中で暮らす人々が抱える問題

- 言葉の障壁
- 文化・価値・習慣の違い
- サポートシステムの欠如
- 社会システムの違いと情報不足
- 望んだ移住か、望まない移住か

3) 滞在の長期化・定住化にともなう問題の多様化・複雑化・深刻化

- 国際離婚・ドメスティックバイオレンス
- 親子のコミュニケーションギャップ
- 子育て不安・児童虐待
- 学校への不適應・不就学・不登校
- 非行・10代未婚の妊娠、出産
- 就労上の問題
- 医療サービスを受ける上での困難
- 高齢化にともなう問題

4) ソーシャルワークの支援の必要性

- 生活情報提供、日本語教育支援とともにソーシャルワークの専門的知識や技術を導入したサービスの必要性

2. ソーシャルワークとは

1) 人が問題を抱えている場合、問題解決に向けて「人」へ働きかけるだけでなく「環境」にも働きかける支援の方法

2) すべての人々が、その可能性を十分に発展させ、その生活を豊かなものにし、かつ機能不全を防ぐことができるように、「人」と「環境」の間の多様で複雑な相互作用に働きかける支援の方法

3) 問題を抱える個人、家族、グループ、コミュニティに働きかけると共に、適切な社会資源やサービスにつなげる、もしくは社会資源やサービスそのものを開発する。必要に応じては、制度・政策そのものを変革していくための活動を行う。

3. ソーシャルワーカーとは

1) ソーシャルワークの手法・方法を活用する支援者

2) ソーシャルワーカーの主な役割

- ・ 仲介者
- ・ 権利擁護者
- ・ ネットワークシステムの調整者
- ・ カウンセラー
- ・ 教育者

4. 多文化ソーシャルワークとは

1) 多様な文化的背景を持つクライアントに対するソーシャルワーク

2) クライアントとワーカーが異なる文化に属する援助関係において行われるソーシャルワーク

3) クライアントが自分の文化と異なる環境に移住、生活することにより生じる心理的・社会的問題に対応するソーシャルワーク

5. 多文化ソーシャルワーカーとは

1) 多文化ソーシャルワークの実践の担い手

- ・ 多様な文化的・社会的背景を持つ外国人の相談にあたり、「ソーシャルワークの専門性」を踏まえて相談から解決まで継続した支援を行う

2) 多文化ソーシャルワーカーのタイプ

- ・当事者の言語・文化に属し、日本の文化や日本語にも精通するワーカー
- ・日本人であるが、多様な文化的背景を持つクライアントに対応できるワーカー
- ・外国人対応を専門に行うワーカーのみでなく、日本人対応が主体のワーカーにも、多文化対応能力が必要になってきている

6. ソーシャルワークの支援を行う上での心構え

1) 支援を必要とする人は1人ひとり異なる

2) 相手を受け止める

3) 相手の意思を尊重する

4) 秘密を守る

5) 感情移入しすぎない

6) 不必要な依存を促さない

7) 抱え込みすぎず適切な社会資源につなぐ

7. 多文化ソーシャルワークを実践する上でのポイント

1) クライアントの社会的・文化的背景を尊重する。そのためにも、クライアントの文化的特色、生活習慣、宗教観、家族観、子育て観、社会的・経済的状況の基礎知識を得ておく必要がある。

2) 日本的な価値観のものさしで自分と異なる文化のクライアントを判断していないか、自己覚知する

3) クライアントの日本語能力、経済力、サポートネットワークなども含めて、クライアントの日本への適応のアセスメントを行う

4) クライアントの日本語能力を判断しながら、平易な日本語で話す。必要に応じて適切な通訳を活用する

5) クライエントの代弁者となる。クライエントの状況や問題、文化的背景を連携機関に説明、理解を促す。他機関の援助者の外国人に対する意識が高まるように働きかける

6) クライエントと社会資源の仲介者となる。クライエントに対しても日本のサービスシステムについての情報提供し、サービス活用に繋げる。

7) ソーシャルネットワークを拡大する。公的機関や医療機関等フォーマルな社会資源のみならず、外国人支援団体、日本語教室、教会、外国人当事者組織等のインフォーマルな組織と柔軟にネットワークキングする。

8) フォーマルな社会資源とインフォーマルな社会資源が連携体制を構築し、役割分担を明らかにする。

参考文献

石河久美子『多文化ソーシャルワークの理論と実践―外国人支援者に求められるスキルと役割』明石書店
2012年

石河久美子『異文化間ソーシャルワーク』川島書店 2003年

石河久美子監修「多文化ソーシャルワーカーハンドブック」愛知県地域振興部国課多文化共生推進室、
2011年

石河久美子「多文化ソーシャルワーカーの必要性―求められる在住外国人支援の充実化」『社会福祉研究』
第105号 2009年

石河久美子「多文化ソーシャルワーカー育成の必要性―求められる能力・役割とは」 『国際人流』
第233号 2006年

総務省『多文化共生推進に関する研究会報告書―地域における多文化共生の推進に向けて』2006年
(財)豊田国際交流協会『地域の国際化豊田セミナー2004報告書 多文化ソーシャルワーカー―多文化
共生社会の担い手の育成に向けて』2005年

Baker, R.L., The Social Work Dictionary, NASW Press, 1999